第46回コンクリート工学講演会 | A. 材料・施工 | 環境配慮型コンクリート（材料）

環境配慮型コンクリート（材料）7

座長:岩下健太郎(土木),椛山健二(建築)
2024年6月28日(金) 13:15 〜 15:00 第2会場 (小展示室B)

[1258]天然繊維を用いたコンクリートの透気性向上と CO_2固定効果

坂本守[1], 岩渕崇宏[1], 湊太郎[2], 岡村宏一[2] (1.安藤・間 2.青木あすなろ建設)

キーワード：サイザル繊維、圧縮強度、CO_2固定量、促進中性化試験、表層透気係数

コンクリートのカーボンニュートラル化が強く求められる中，コンクリート部材を炭酸化するためにはコンクリート内部まで CO_2を浸透させる必要がある。そこで天然繊維のうちサイザル麻繊維に着目し，添加時の配合選定と共に，諸物性の把握とともに促進中性化試験による CO_2固定効果との関係を評価した。その結果，繊維の添加によって圧縮強度は若干低下し乾燥収縮も増加するが，繊維添加率の増加と共に透気係数が増加することで CO_2固定量も増加することが確認できたことにより，コンクリート部材内部への CO_2固定対策の一助となる可能性が示唆された。

©公益社団法人 日本コンクリート工学会